

住友生命護岸(コース力前護岸)の 海洋漂着ごみ対策について

横須賀市港湾部

現地の状況

狭い湾の最奥部に位置するため、風向によって海洋ごみが大量に漂着する



現地の状況

特に、北寄りの風が卓越する10月中旬～11月末は、湾外から大量のごみが漂着。このため、漂着ごみが多い10月～翌年3月までの期間、シルバーハンターへの委託清掃により、週5回清掃を実施。



清掃前



清掃後

1回あたり2名、2時間程度の清掃を実施しているが、護岸を完全に綺麗にすることは不可能



コースカの運営会社様がダストフェンスを展張しているものの、ごみが越境してしまっている状況

ダストフェンスの位置

ダストフェンスは、コースカの所有者様が設置

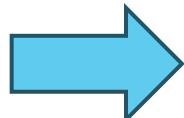


これまでの経緯

人力による清掃では、護岸の美観を保つことが困難であることから、令和7年5月から、下記の機関と、漂着ごみ対策の「勉強会」を開催。
(令和8年1月までに、7回の勉強会を開催)

- ・前田工纖(株) ※ダストフェンスのメーカー
- ・国土技術政策総合研究所
- ・港湾空港技術研究所
- ・海洋研究開発機構

「勉強会の結果、下記について各機関と方針確認



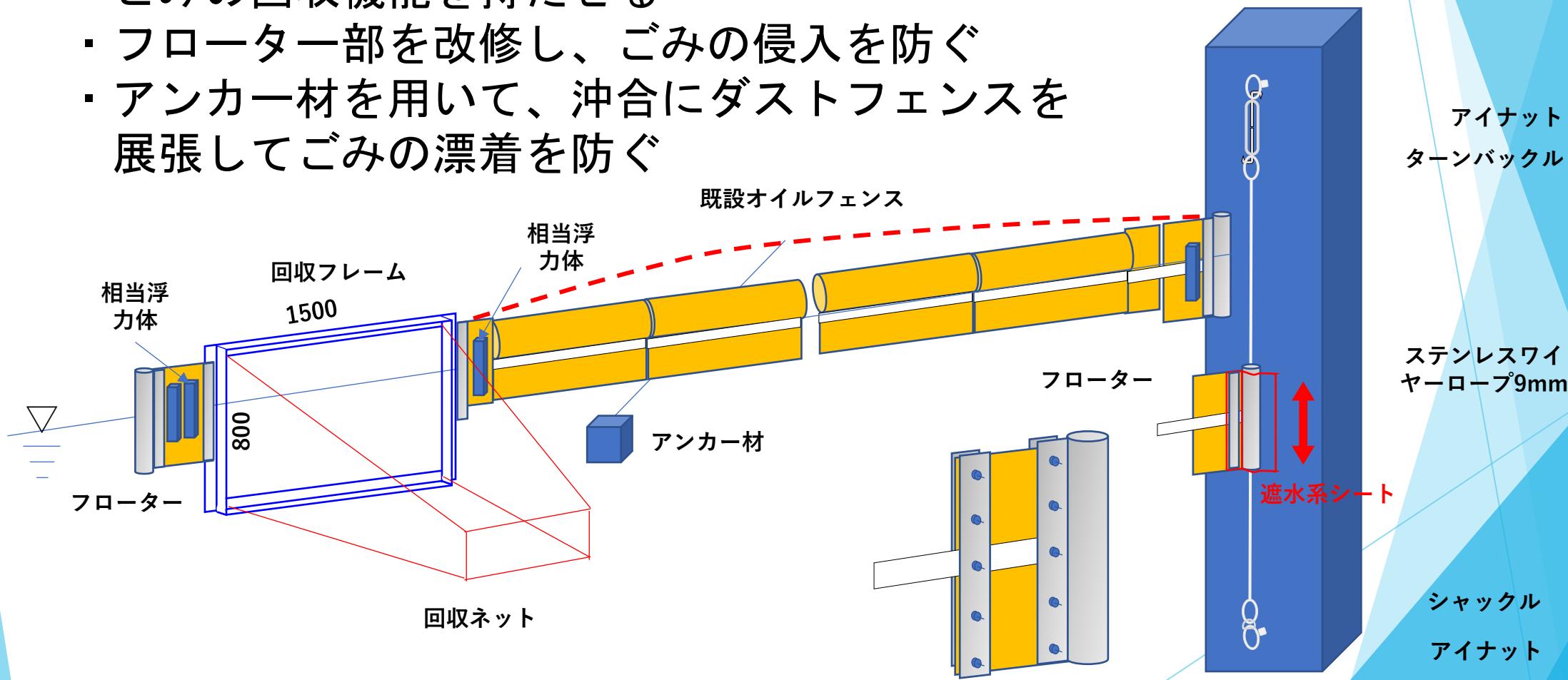
- ・年度内に、前田工纖(株)の実験案による実証実験を行う
- ・前田工纖(株)と実証実験に関する覚書を締結
- （海洋研究開発機構と市は既に、包括連携協定を締結済み。）

実証実験の内容

- ①ダストフェンス（フロート部を含む）の改修
- ②ダストフェンスへのごみ回収機能付与・機能の検証
- ③ダストフェンスの沖合への展張・固定（アンカー材の付与）

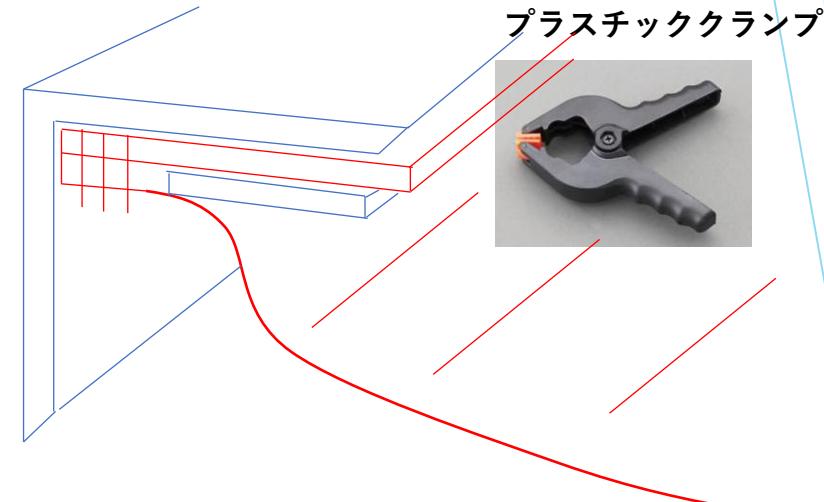
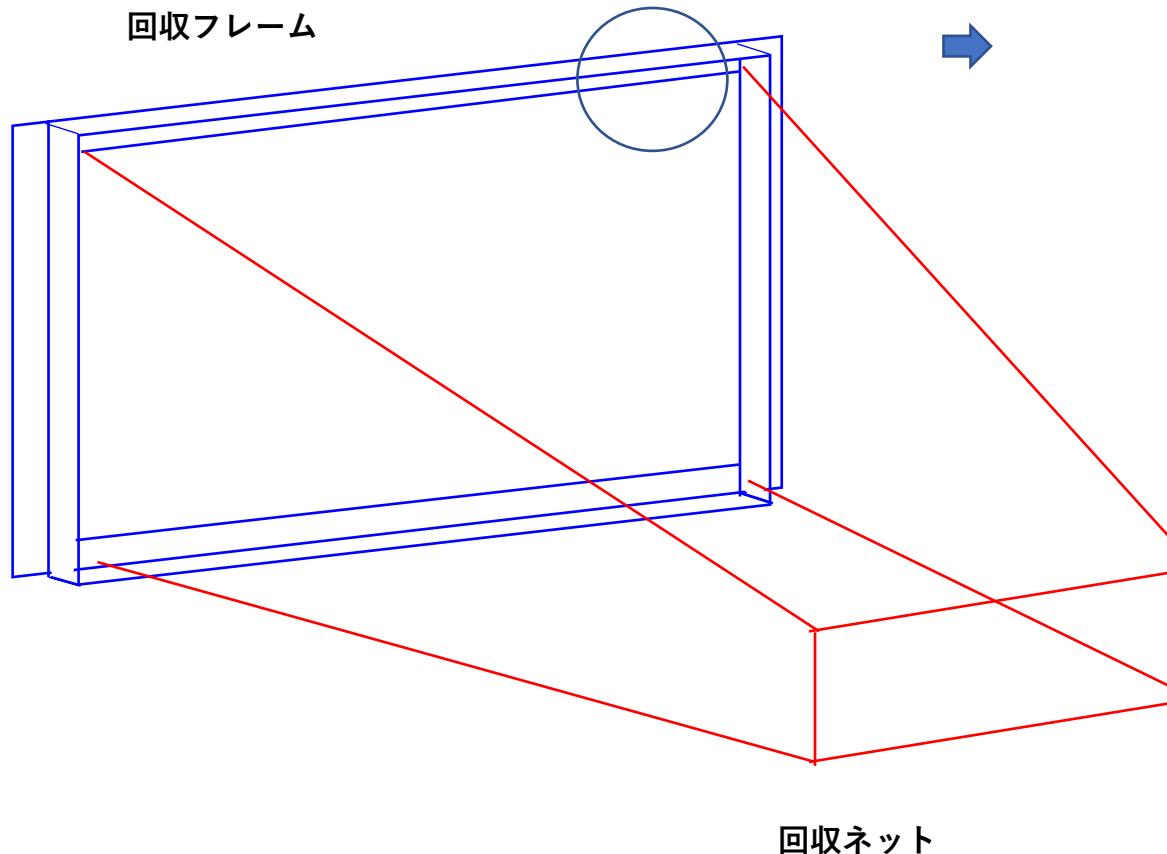
ダストフェンスの概要

- ・ダストフェンスに「回収フレーム」を付加してごみの回収機能を持たせる
- ・フローター部を改修し、ごみの侵入を防ぐ
- ・アンカーマークを用いて、沖合にダストフェンスを展張してごみの漂着を防ぐ



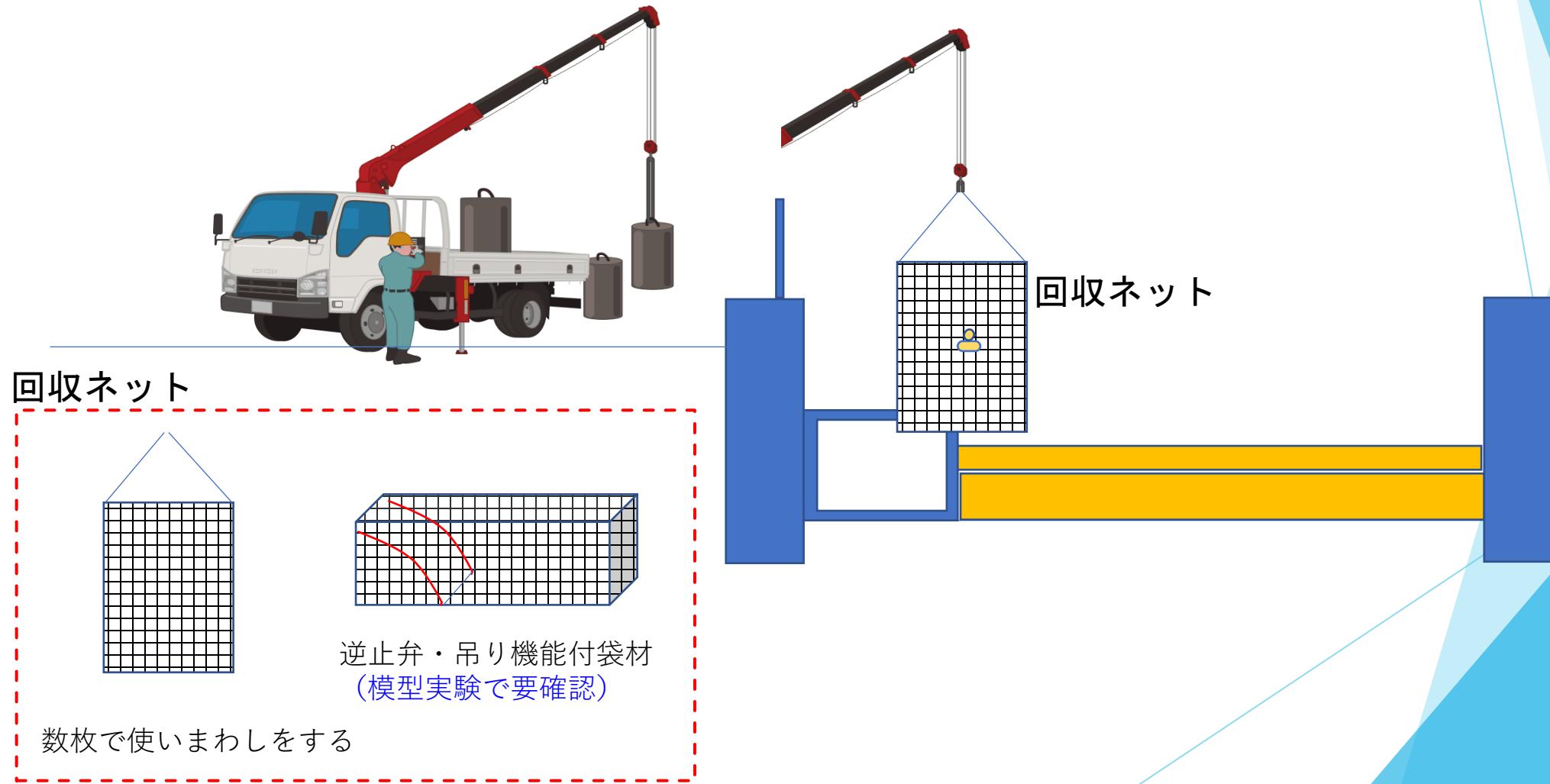
回収フレームの概要

- ・回収フレームはクランプで簡易にとめ、
回収ネットを取り外し可能にする



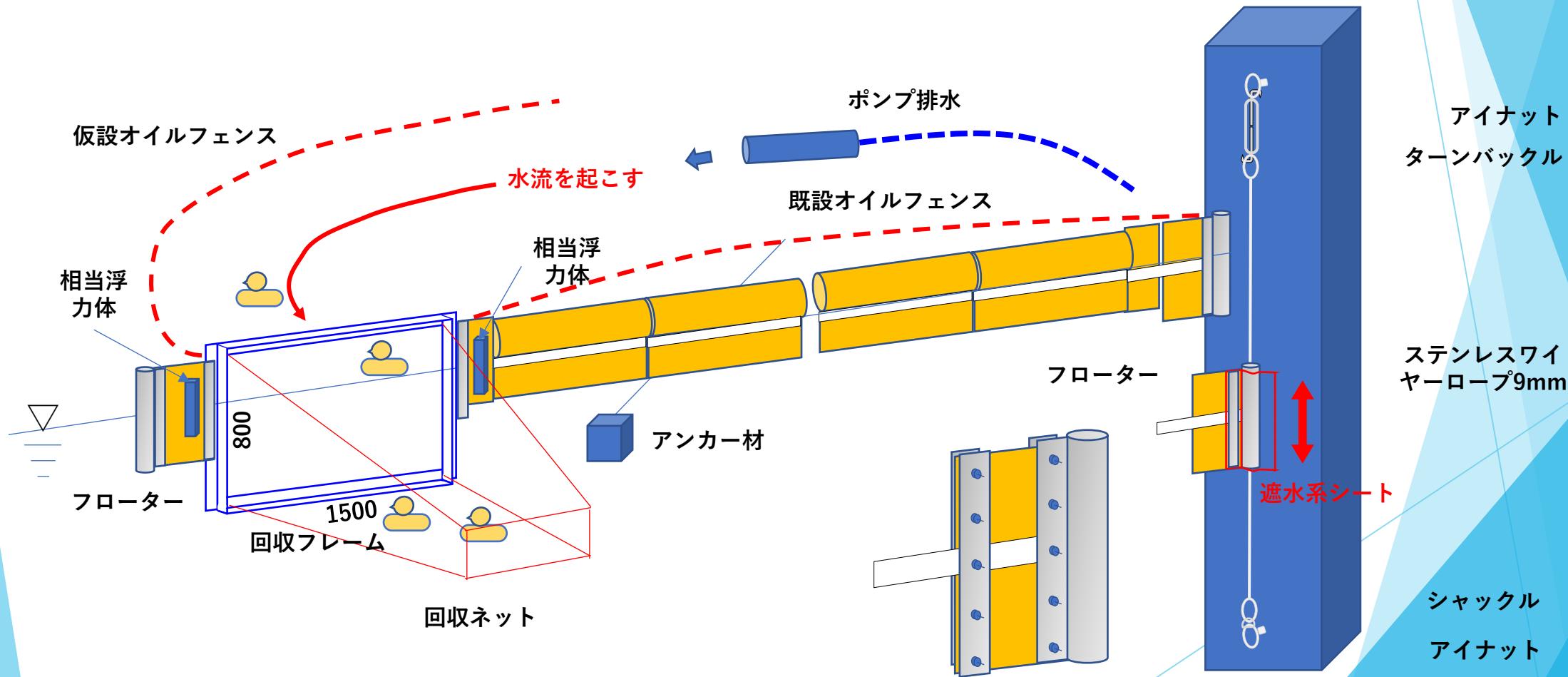
回収したごみの搬出

- ・回収したごみは回収ネットごと搬出する方法を検討



実海域可能試験の概要

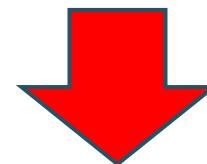
- ポンプで水流を発生させて、ごみ回収ネットにごみを誘導、ごみの回収効率向上をはかる実験も実施



今後の実証実験の流れ（予定）

1) 第1段階（令和7年度内）

- ・ダストフェンスへのトラップ設置試験、展張試験等の実施
- ・各機関と市の覚書締結



効果の検証・課題の洗い出し

2) 第2段階（令和8年度以降）

- ・第1段階で実施した手法の検証・改良等
- ・各ごみ収集装置の試作、室内・実証実験の実施

実証実験見学会について（お知らせ）

下記の実証実験について、見学会を実施いたします。

- 1 実験の概要・途中経過説明
- 2 ポンプの水流を用いたごみ回収実験

見学会の開催日時等は下記のとおりです。

日時：令和8年（2026年）3月16日（月）13時30分～14時30分

場所：住友生命護岸（コースカ前護岸）

※現場は大変滑りやすくなっています。

事務局で長靴をご用意致しますが、動きやすい服装でご参加ください。

見学会に参加をご希望される場合は、3月9日（月）までに、
下記担当までご連絡ください。

担当：港湾部港湾管理課 佐々木・平出（046-822-8531）